



一乗小だより

深く考える子
進んで取り組む子
思いやりのある子

福井市一乗小学校 第79号
令和7年10月9日発行
TEL 43-2024 FAX 43-2025
E-mail: itijo-e@fukui-city.ed.jp

PTA 意見交換会

《PTA意見交換会 ～学校規模適正化を考える～》



資源回収、親子奉仕作業の後、たいへん疲れているところでしたが、学校規模適正化の問題について考える機会をもちました。

平成27年の文科省から出された学校規模適正配置等に関する通知を受け、福井市では平成29年より検討委員会を設置し協議を行いました。そして、令和2年5月に学校規模適正化に関する答申が出され、その後、各地区において内容に係る説明会が実施されました。一乗地区では令和3年10月に説明会が実施され、当時の地域住民や保護者との懇談の時間がもたれました。それから数年の間、特に動きがなく今日

に至っています。その間、児童数は減少し、令和3年度に29名だった児童数は現在17名となっています。

この会では、「これまでの経緯」「5月アンケート結果報告」「美山地区の事例に習い今後の取組について考える」の3つについての時間をもちました。初めての会ということもあり、特にご意見はなかったのですが、今後、この取組を継続するとのことで、これ以降に実施するアンケートや懇談会でご意見をいただきたいとします。PTA会長が話をしていました「これからの子どもたちにとって、よりよい教育の環境を整える」ことを目的とし、このことについて保護者の総意として意見がまとまることを願っています。

《今後の取組について》

目的	これからの子どもたちにとって、よりよい教育の環境を整える
予定	令和7年10月末 在校生保護者を対象とした第2回アンケートの実施
	令和7年11月末 アンケート結果公表
	令和7年12月 第2回意見交換会（懇談会）
	令和8年1月 地区の役員に小学校の現状と今後の見込みを説明



《追記》7月アンケート調査結果より「Q6 その他のご意見」に対する回答
★再編する場合の心配事等について、今の段階での回答です。必ずそのようになるというのではなく、他の事例からそのようになると思われる、として見てください。

・ 複式での学習が影響しませんか？

→ 再編の前年度は複式を解消し単式で授業を行い、進度を調整します。

・ 再編後のクラス決めの際は、一乗の子がバラバラになってしまわないように配慮してほしい。

→ クラス編成では一乗の子が複数になるように配置します。

・ 再編する場合、統合先の児童と交流する機会があると良いと思う。

→ 再編に向け、他校との交流は計画的に行われます。他の事例でもそのように行われています。

・ 国語と算数以外の教科は他学年の学習をしている年度があるので、統合になった際に気になる。

→ 再編の前年度は複式を解消し単式で授業を行い、進度を調整します。

・ 児童クラブがなくなってしまうのが、小学校と同様に残念です。

・ 高学年になっても利用できるのか？

→ 再編の会議等で協議することになります。他の事例では保護者と市により協議されています。



会の間、子どもたちは体育館で元気に活動していました。😊

・通学に関して親が学校まで通学させるのか？

→ 通学バスが運行されます。他の事例ではバス運行ルートの検証も行われています。

・いじめ等、勉強等、先生等、まったく違う学生生活になる為子どもたちが大人数の生活になれるのか？

・一乗の今までの行事を続けてほしい。

→ 転校ではないので、一乗の教育も併せた新しい教育課程で全ての児童が活動します。

一乗地区を併せた新しい地区の中の学校という扱いです。

一乗の子だけでなく他の児童にとっても新しい環境で学ぶことになります。

もちろん、先生も保護者も地域の方もお互いに新しい環境でのスタートになるため、全てにおいて丁寧に、慎重に物事を進める必要があります。

《最後に》答申の最後に書かれていることですが、『協議の結果、ICTを活用したり、他の学校との交流を拡充したり、子どもたちの学びの環境を広げることで、現状のまま学校を存続させるという判断になった場合は、1つの学校だけで学びを閉じるのではなく、コミュニティ全体の中での協働的な教育の開発が不可欠である』、このことから再編するにしましなくても、子どもたちの学びの環境を整えることが大切だと考えます。

サツマイモ掘り

10月6日、1年生のサツマイモ掘りがありました。5月に植えたサツマイモとショウガの収穫を行いました。今年はなかよし農園の畑ではなく学校菜園で育ててきました。JA女性部の方に教わりながら収穫物を傷めないように丁寧に土を掘ってサツマイモを手にしていました。とても嬉しそうに満足した表情で収穫したサツマイモを見ていました。後日行うサツマイモクッキングで収穫したサツマイモとショウガをおいしくいただきたいと思います。ありがとうございました。そして、また、よろしくお願いします。



足羽一中母校訪問駅伝

足羽第一中学校母校訪問駅伝(60回記念)



10月8日に第60回記念大会の足羽第一中学校母校訪問駅伝が行われました。中学校の1学年3学級、2学年3学級、3学年4学級、それぞれ男子10名、女子10名の計20名でチーム編成を組み、全20区間、約31kmを走りました。本大会は昭和41年10月に第1回が行われ、それ以降、今日まで続けられています。大会の趣旨である「スポーツマンシップ」の育成に加え「母校愛」「郷土愛」の育成を重視し、選手のみならず関係者の全ての人が長年タスキを繋いできました。

今回は第60回記念ということもあり、OBチームが参加し、各母校にトップランナー到着時に空砲花火を上げ、さらには、

事前に配布された応援ハリセンで大会を盛り上げていました。一乗小は第7区から第8区への中継地点で、走り終えた選手や伴走者との交換会を行いました。子どもたちは先輩の走りや言葉を聞いて、自分も足羽第一中へ進学したら選手として力いっぱい走りたいと熱い気持ちを発表していました。県内でも全国でもたいへん貴重なスポーツ大会であると思います。これからも無事に安全に、そして、盛大に開催が続くことを願っています。



..... 切り取り

学校へのご意見やご感想をお知らせください。

こちらからも可 →→→

年 名前

(無記名でも構いません)

